

透明マスクと読話

聴覚障がい児とのコミュニケーションにおいて読話（口の動きを読み、音韻情報を捉える方法）は、曖昧な聞こえを補い、手話においても大切な表現方法の一部となっています。一方、新型コロナウイルスの感染予防のために、マスクの着用が推奨されていますが、マスクを着用すると読話できなくなるため、マスク着用をしないで授業せざるを得ない状況となっています。そこで、自立活動支援センターでは、透明マスクの使用をお勧めします。透明マスクは、マスクをしたままでも読話できます。全国の聾学校でも熊本ろう学校をはじめ導入し始めている学校があるようです。

ここでは、簡単な透明マスクの作り方を紹介します。是非、透明マスクを作成していただき、読話もでき感染リスクを抑える学習環境づくりをしていきましょう。

透明マスクの作り方 PART 2

1 準備するもの

- ◎ ハサミ
- ◎ セロテープ
- ◎ ラミネートフィルム
1枚
- ◎ マスク用ゴム
(使い捨てマスクから切り
とったゴム)



2 所要時間

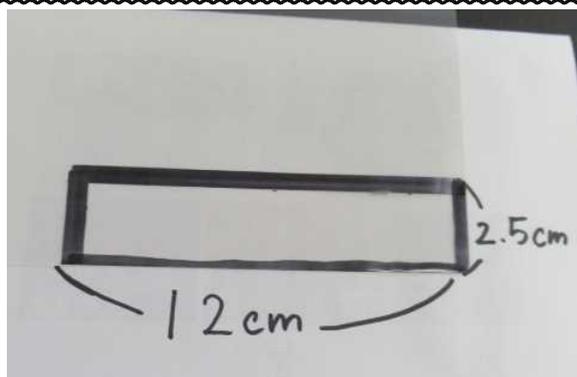
約5分

3 作り方

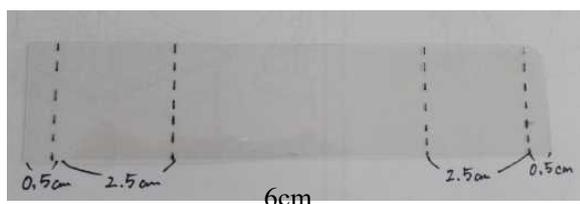
- (1) A4のラミネートフィルムをあらかじめラミネートして透明なシートにする。このシートを縦長に置き、下から10cmのところまで切る。



(2) シートを2.5 cm×12 cmに切り取る。



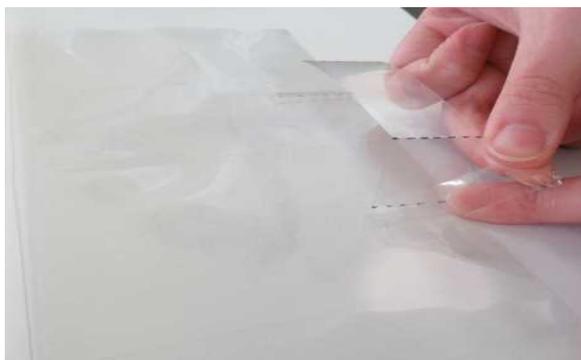
(3) (2)で切ったシートを端から0.5 cm、2.5 cm、6 cm、2.5 cm、0.5 cmを測る。



(4) (3)で測ったシートを右の写真のように立体的に折る。



(5) (1)で切ったシートの下部分の中央に貼り付ける。



(6) 最後に、マスク用ゴムをセロテープで貼り付けたら出来上がり。



こんな素敵なマスクの出来上がりです。使い捨てマスクのゴムが一番フィットするようです。捨てずに取っておいて使うことをお勧めします。